理由書

芥川城跡は、戦国時代初の天下人、三好長慶が居城とした城郭遺構が良好に残る「摂津国最大規模の山城」であり、極めて高い歴史的・学術的価値を有している。この貴重な遺構の価値を大切に守り、魅力を広く発信するとともに、次世代へと活かし伝える空間を確保するため、新たに都市計画公園として位置づけるものである。